

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



令和元年、いよいよ会場形態が激変する時がやってきました。ビッグサイトに移転して以来、24年ぶりの大変化だけに、何がどうなるか開けてみるまで分かりません。

でもこれは全参加者がコミケットへの参加スタイルやルールを再確認する好機でもあります。

ようこそ、アナタも一緒に作る、新時代のコミケットへ!!



■■全参加者・要認識更新！■■

今回C96は、東京ビッグサイトの使用開始以来となる大規模な会場使用形態の変更及び4日間開催となるのはご存知の通り。24年前の晴海見本市会場から東京ビッグサイトへの移転時と比べても、コミケットの規模ははるかに大きくなり、今や移転を経験した参加者は少数派だろう。加えて初の分離会場、新ホール、そしてリストバンド型入場券の導入と、これら変則の極みのような開催スタイルが、毎年酷暑となる夏コミにやってくるのだ。たとえ何のトラブルも無かったとしても、4日間のその1日1日が誰にも予測できない非常に特殊な時間となることは間違いない。考えようによっては変則開催となるC96、97、98の中で今回が最も大変だと言えるだろう。

そんな前代未聞のコミケットに臨む参加者に対して言えることは、『とにかく正確な、新しい情報を逐次取得・理解してそれに対する準備を整え、当日に臨もう』ということに尽きる。

アナタがもし、これまでも漠然と『とりあえず行けば何とかなるだろう』というくらいの感覚で参加していたのであれば、少なくとも今夏のC96に関してはその認識を改めて物心両方の準備を万全にして参加することを強く強くオススメしたい。

■長時間行列予報■

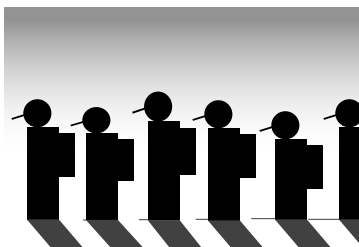
これまでビッグサイトでの開催が定常化するに従って、参加者入場の流れも最適化が進み、『始発から並んでも開場後から並びはじめても入場時間に大差がない』『正午以降に来場すれば並ばずに入場できる』ということが定着していた。しかし、会場の使い方が大きく変更される今後3回の開催については残念ながらそのメソッドが通用しない可能性が大きい。これは従来に比べて会場の総面積自体が縮小されているためだ。

面積が狭くなったということは会場内に滞在できる人数が少なくなるということであり、これまでのように、開場以降どんどん会場内に参加者を入れ込んでいくことが難しいだけでなく、もしかすると、**全待機者が入場する前に会場が文字通りの『満員御礼』**となってしまう、用事を終えて会場を離れる参加者が現れるまで入場することも叶わないという事態さえもあり得るのだ。

そうなることも考えると（繰り返すが、実際にどうなるのかは当日になるまで全く分からない）これまでの入場テクニックではなく、確実な入場を求めるなら始発電車以降の早朝から並ぶことが重要な意味を持ってくる。その場合には待機時間がかなりの長時間となるため、普段のコミケット以上に待機時間中身体のコンドディションを維持するための準備と知識が必要になるだろう。

●目的を定めよう

距離の離れた別会場となることから、サークルスペースと企業ブースの両方を1開催日での参加で見て回るのは非常に困難と言わざるをえない。カタログなどで事前に欲しい物や行きたいサークルを念入りにチェックし、優先して行きたい場所を明確化しておく必要があるだろう。また、会場以外でも新作入手の機会があるものは見送るなど、会場内での時間の使い方をよく考えるべきだろう。



●長時間に備えよう

今回C96をはじめ、変則的な開催スタイルが続くC98（5月開催）までは・次回は長時間の入場待機を余儀なくされる可能性がある。そのつもりで十分に準備をして並ばないと、せっかく並んだのに途中で体調を崩してリタイア、入場さえ果たせずに帰宅という最悪の事態さえもあり得る。

特に企業ブースの入る青海展示棟は仮設会場なので周辺に飲食物を調達したり、現金をおろしたりできる場所が極めて少なく、待機列も大部分の時間が陽射しをさえぎる物のない屋外となるため、こちらに先に並ぶのであれば、全て会場到着より手前の時点で事前に調達していくべきだ。

- ・水分は絶対に必要。500mlペットボトル3本以上は携行しよう。
- ・簡単に食べられる行動食を用意。
- ・日焼けや熱中症の危険が高いので帽子・日除け必須。
- ・携帯扇風機、うちわ、扇子などの『風源』を用意。
- ・熱い地面に直接座らないように敷物や折りたたみイスを用意。
- ・携帯機器類のモバイルバッテリーは複数用意しよう。
- ・トイレには長時間かかる場合がある。早め早めの決断を。
- ・周囲の参加者と言葉を交わそう。気分が悪そうな参加者を見かけたら即スタッフに連絡を。
- ・自分が気分が悪くなったら、絶対に無理をせずに周囲に助けを求めよう。無理に1人で何とかしようとしないうこと。



●もちろん熱中症対策を！

長時間の屋外待機の際、なんと言っても怖いのは熱中症だ。最近では夏になるとこの言葉を目にしない日はないくらいで、予防方法や対策グッズもかなり一般化してきたのは非常に良い傾向だ。しかし、それらも、**現場に用意してこなくては意味がない**。残念なことに未だに帽子も被らず、手足や首の肌を直射日光に晒したまま一般入場の待機列に並んでいる参加者は数多いが、待機が長時間に及ぶ場合、そういった無防備な参加者ほど、当然リスクは加速度的に上昇する。水分と塩分だけ摂っていれば大丈夫、というわけではないということはよく理解してほしい。身体を直接加熱する日光を遮る物を用意することは、熱中症対策として基本かつ、非常に効果が大いなのだ。**帽子、薄手の紫外線カットタイプの上着、大判のタオルなど、日傘以外の日除けグッズを全員必ず用意しておこう。**

また、睡眠不足や過労も熱中症を招く要因なので、コミケット前夜や参加後は入浴し、適度に涼しい部屋でしっかり睡眠を取るよう心がけてほしい。

●スマート入退場で、みんな幸せになろうよ。

今回から導入されるリストバンド。これをお読みのアナタは当然入手済みだと思うが、今回のように実際にどういう状況になるか不明の場合には、なおさらこういった事前に用意できるものは用意しておくのが望ましい。当日に、と考えると、どれほどのタイムロスになるか分からないからだ。新しい試みが導入される時は、参加者側もスムーズな入場のために積極的に協力する必要がある。待機列が動く際にはヘッドホン類は外し、スマホやゲーム機もしまって、周囲の状況やスタッフの誘導をきちんと把握して行動しよう。

また、もし入場後にアナタの用事が済んでなお、外に入場待機列が残っているような状況だった場合には、未だ入場できていない参加者に機会を譲るために少しでも早めに会場を出るという協力もできる。

サークル参加者は逆にできるだけ長く頒布を続けることで、後から入場してきた参加者にもコミケットを十分楽しんでもらう一助となれるだろう。共にぜひご検討を！



●待機中は『おたがいさま』のココロで

早朝からの参加を予定しているなら、長時間にわたる待機時間をどう乗り切るかも考えておくべきだ。特に個人で参加する場合には、並んでいる間に何をして過ごすのか、買い物やトイレはどうするのか、といった事はかなりシリアスな問題になる。

ほとんどの場合、アナタが待機列に最後尾に並び、列が確定したらあとは開場近くまでその場で座って待つことになる。長ければ4時間以上の時間を過ごすことになるので（持ち物面での準備を万全にしておくのはもちろん）**周囲の参加者同志である程度コミュニケーションを取り合い、助けあうことが長丁場をうまく過ごすコツ**である。『情けは人のためならず』という言葉もあるが、せっかくコミケットという場に集う数十万人の参加者の中で、偶然に隣・前後同志となった『縁』は少し大切にしてみてもいいハズだ。

待機時間が長くなればトイレ、休憩、買い物などで列から離れたいという場面は誰にでもおこり得るものなので、周囲の参加者同志がお互い協力しあって気軽に列を離れる時間を持てるようになれば、待機も大分楽になる上に、もし体調を崩した参加者が出て早い時点で対応できるなど、メリットは大きい。

なお、同行者が居る場合にはおしゃべりなどで盛り上がり過ぎて周囲の参加者に迷惑をかけてしまわないよう、**声量とともに内容にも気を使おう**。何らかの作品が好きな人たちが多く集う場である、作品やキャラクターに関連したネガティブな話題は避けたい。

- ・列が落ち着き、座って待機の指示が出たら、まず周囲の参加者同志挨拶をしてみよう。
- ・列が動かない時間帯には時々列から離れてもよい。その際には必ず周囲の参加者に一声かけていこう。大きな荷物は残しておいても良いが、貴重品類は必ず持っていくこと。用事や休憩を済ませたら早めに列に戻るのがマナーだ。
- ・周囲の参加者も、列を離れている間はその場所を確保し、残された荷物には注意しておいてあげよう（持ち去りや放置の防止。列移動開始までに戻らなければスタッフに一報を）。
- ・特に仮設トイレは非常に狭いので、財布や携帯電話他貴重品、ウェットティッシュやティッシュ、ハンドタオルなどをまとめたミニバッグを持って行くと良い。ただし使用中にトイレの中に落とさないよう重々注意すること！
- ・待機列で眠る際には、気分が悪くてそうしていると誤解されないよう、『今から一眠りしますけど、気分が悪いわけではありません』と一声かけておくと周囲も安心できる。
- ・逆にうずくまって声をかけても返事ははっきりしない、ぐったりしている、座っていても身体がグラグラと揺らいでいるような参加者がいたら熱中症の危険がある。スタッフを呼んで報告しておこう。
- ・待機列やその周囲で落とし物を拾ったら、入場後できるだけ早く準備会インフォメーションへ届けること。
- ・待機場所、移動中を含めゴミは絶対に放棄せず、列移動の際には周囲を確認、自分のもの以外のゴミも拾って館内のゴミ箱へ。



●再確認・待機列で傘が使えないワケ

強い直射日光を遮り、風通しは良い、日傘を使わない理由はないのでは……？ビギナーさんはそう思うかもしれない。しかし、雨傘でも日傘でも、某オリンピックの被り傘でもコミケットの待機列で傘は使用すべきではないのだ。その理由は周囲全方向に骨の先端が飛び出しており、立っていても座っていてもその先端が周囲の参加者の顔の高さにくるという傘の構造に起因する。互いに密集して待機する必要のあるコミケットの待機列で、ほんの少しでも互いが動くだけで意図せずともその先端が周囲全方向の参加者の目などを直撃しかねない傘は、あまりにも危険なのだ（待機列や参加者が密集している場所以外や、会場への行き帰りでの使用は問題ないので持ち込み禁止ではないことに注意）。

——■雨ニモマケス（中略）夏ノ暑サニモマケヌ■——

確率的にはそう高くないとは言え、もしも降るとダメージ甚大なのが雨。特に昨今のゲリラ豪雨と呼ばれるごく短時間に多量の降雨がある今回は長時間待機があり得るのなら遭遇確率もまた上がるので、全員最低限の備えはしておこう。

しかし、持ち物を考えると使わない雨対策グッズはデッドウエイトになってしまうので、極力暑さ対策や汗対策と一体のものとして考えるのがオススメだ。

●雨対策はレイヤーで考える

雨といえばカッパやポンチョ（レインウェア）だが、実のところ、これは雨対策としては一番表層の、いわば『最後の仕上げ』に過ぎない。ごく短時間のパラパラと降る程度の小雨ならともかく、長時間に渡って雨模様の屋外で待機する、あるいは本格的な雨にさらされるとなると、たった1枚のレインウェアだけでは全く足りないのだ。

雨に当たれば身体は当然濡れる。しかし、レインウェアを着ていたにも関わらず、気がつけばびしょびしょに濡れていた、ということが特に夏には頻発する。

これは主にウェアの内側に籠った湿気が雨に冷やされて結露したもので、ほぼ不可避の自然現象だ。結露である程度濡れても、ゲリラ豪雨の土砂降りに比べ濡れるになるよりはマシ、という選択の問題でもある。

多量に汗をかくのも結露した湿気で濡れるのも服が濡れることには変わりがないとするなら、汗対策の延長に、レインウェアと組み合わせた時により快適を保てるウェア構成が存在すると思うことができるのではないだろうか。

◆第四層：レインウェア◆

雨を受け止める最外層。荷物の上からかぶれるポンチョ型、上下に別れ、最も防水力に優れるセパレート型、簡易的なコート型などいくつかのタイプがあるが、コミケットの環境下では、脱ぎ着が楽でカバンもカバーできるポンチョ型が最もオススメ。ただし豪雨になると地面からの跳ね返して下半身から濡れる。また、1枚のシートをかぶっているだけなので強風には弱いので、洗濯バサミを数個持っていくと◎。

◆第参層：タオル/帽子◆

陽射し対策の基本としても有効な帽子と大判タオルは晴雨問わすの必須アイテムだ。雨の時には肩にタオルをかけてからレインウェアを着込み、帽子の上からフードをかぶることで先に挙げたウェア内での結露を大分軽減することができるため、あると無いとでは快適性が大きく異なる。つばのある帽子は顔に雨が当たるのも防げるので、特に眼鏡使用者には大きなメリットとなる。汗や雨水を拭くハンドタオルも別途数枚用意しておきたい。

◆第三層：シャツ/ズボン◆

暑さ対策、雨対策としてシャツを考えると、ポリエステル系化繊か、それが半分以上混紡された生地のシャツやズボンがベストだ。最も一般的な綿（コットン）が主素材のウェアは、一度湿気を含むと体温くらいではなかなか乾かないという点で上下を問わず全くコミケット向きではないと断言できる（乾きにくい分雑菌も繁殖しやすく、臭いの原因にもなる）。

面積の大きなシャツやズボンは、汗や雨などの湿気を多量に吸い込み、外部に放出する機能も担っているため、その機能を強化した製品を選択すれば快適性は格段に向上するのだ。

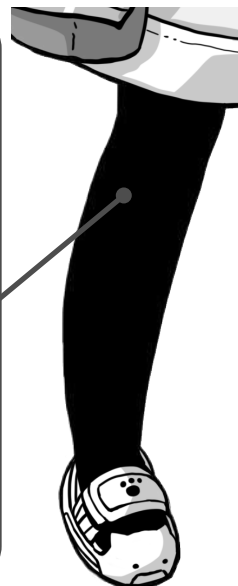
また、UVカット効果、熱線カット効果なども付加された製品なら猛暑下でも一層快適に過ごせるので、機能に凝りたい部分だ。



◆第壹層：アンダーウェア/靴下◆

当記事では、20年近く前の初回から一貫して、コミケットの環境には化繊速乾アンダーの着用を推奨してきたが、近年の猛暑化でアンダーウェアの高機能化と低価格化が一気に進行しており、ほぼどこでも、しかもかなりリーズナブルに『吸水速乾』『接触冷感』『高通気性』『抗菌防臭』などの機能を持ったアイテムが入手できるようになった。機能性アンダーウェアの快適さは高温多湿や雨という環境でこそ際立つので、晴雨を問わずもはや全参加者必須装備と言って良いだろう。特に、雨で濡れた時や、天気が悪く気温が低いような場合には、体調維持のためには保温性と肌をドライに保つことが不可欠となるが、それは化繊のウェア以外には不可能な芸当だ。もし降雨が予想されるなら、男女を問わず長袖とタイツ（レギンス）タイプのアンダーの装備をオススメする。素足より保温性（ついでに陽射し対策）に優れ、上に履いたズボンやスカートが濡れても冷えや不快感が段違いに少ないからだ。

突然の雨の際にはどうしても靴が濡れるのは避けられないが、完全防水の靴は夏コミにはやや暑すぎるかもしれない。靴は濡れるものと割り切って軽快なものを選び、中にポリウレタンやウール等の素材の厚手の靴下を履いておけば、足をドライに近いコンディションに保つことができる上に疲労も軽減できる。



◆第零層：インナーウェア/素肌◆

汗を多量にかいたり雨に濡れたインナー（下着）は摩擦で肌を傷めることもあるので、やはり化繊のものが望ましい。トータルで汗や雨の水分を肌に残さないことを徹底することが全天候対応の基本だ。また、化繊系のウェアは極細の繊維の毛管現象を利用して汗や水分を肌から吸い上げて蒸散放出するので、入浴で肌の清潔を保ち、会場内でも時々ボディーパーや濡れタオル等で肌を拭くことでウェアの性能を最大限維持できる。逆にパウダータイプの制汗剤の多用は毛管現象を妨げ、ウェアの性能を低下させる場合もある。汗は抑えるよりも拭き取る方が、コミケットの環境では適している。

■リアルタイム降雨情報でゲリラ豪雨情報をチェック！■

気象庁 レーダー・ナウキャスト > <https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

●補給任務ですか！頑張ります！

早朝から夕刻、帰宅するまでなら夜間にまで及びかねないコミケットに参加する以上、特に会場での補給は全参加者が真剣に考えておくべき大切な要素だ。

いくら会場での時間が貴重でも、購入資金が貴重でも、体調と体力を維持するために水分とエネルギーの補給は絶対に切り捨ててはいけない。朝の待機列の中ならパンやおにぎりなどのお腹にたまるものを食べておくとし、会期中暑くて疲れて食欲が無い時でもゼリー飲料などなら喉を通りやすい。汗を多くかいたなら梅干しや塩飴なども会期中2、3個なら程よい塩分補給になる。

昨今水分補給の重要性は流石に全参加者に周知徹底されていると思うのだが、会期中同じ種類の飲み物を飲み続けるよりは、スポーツドリンク、健康茶や麦茶、水など適当に変えて飲む方が身体にも優しい。ビッグサイト側の会場であれば会期中でも比較的簡単に飲み物を調達できるが青海展示棟の周辺では難しいことが予想されるので、くり返すがそちらを重点的に攻略したい参加者は、事前に小さな保温バッグを用意しておき、ゆりかもめやりんかい線に乗るより前に十分な量の水分とゼリー飲料などを購入しておくべきだろう。



『飲み物はごく少しずつこまめに摂る』の鉄則をお忘れなく！

■■お家まで何マイル?■■

『無事に家に着くまでがコミケットです』とは言い古された表現ではあるが、実際問題としてコミケットの会場からの帰宅はよほど近所に住んでいるか、近場に宿泊していない限りはそれなりの一仕事だ。

イベントの高揚感に煽られて会場で1日の活動リソースを全て使い尽くしてしまわないように注意し、安全に帰宅して明日に備えてきちんと休息するところまで含めてが、本当の意味でのコミケットの1日の終わりだと認識しよう。

特に夏コミでは、暑いさなかにイベントの非日常的な活動を行うことになるので非常に消耗する。帰宅後も普段以上に意識的に休息や回復に努め、その日の疲れはその日のうちに癒そう。

——■ま〜っすぐお家へ帰ろう■——

チェックしたサークルも廻り終えた、同人誌やグッズもまあまあ満足いくまで買った、新規開拓もそれなりにできた……、いいコミケットだった！ しかしその感想は未だ少し早い。会場から家（宿泊場所）までの道のりを無事踏破してこそだ。

なんと言っても、せっかく苦労して手に入れた戦利品の持ち帰りには気を使いたい。戦利品を入れているのが紙袋の場合、その強度は家まで保つだろうか？ 提げ紐と袋本体の接合部や、底の部分などから裂けていくことが多いので、帰宅前に一度よくチェックし、怪しいようなら袋を二重にする、より丈夫なバッグに詰め替えるなどの措置を取るべきだろう。また、あまりハデだったり扇情的なグラフィックの袋はできれば会場外での持ち歩きは控えるようにしたい。その意味でも、あらかじめ戦利品の持ち帰り用に大きめで丈夫な（できれば口の閉じられる）布やナイロンなどのバッグを用意しておくとういだろう。

※たとえ複数日参加するとしても、各日ごとにきちんと会場を離れること。コミケットのルールは会場周辺での徹夜行為や、深夜来場を【絶対禁止】と定めている。特に未成年者は参加にあたっては保護者との信頼関係が大切なので、閉会後は速やかにまっすぐ帰宅すること。

真夏だから大丈夫だろうと甘く見て長時間安眠もできない環境下で過ごす、不衛生だけでなく脱水症からの心不全などの生命に関わるリスクがある。絶対にやってはならない。

●撤収作業は甘くない！

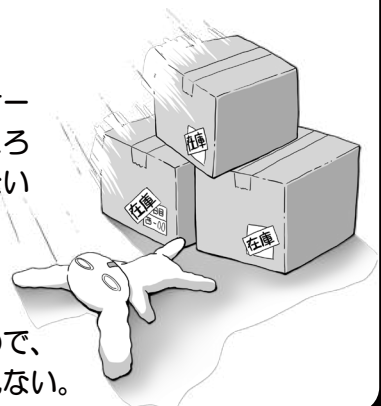
サークル参加者にとって出展日最後の難行が撤収作業だ。限られた時間の中で在庫や多くのディスプレイ用品や他の道具類を片付けなくてはならず、時には自分が購入した戦利品で来た時以上の荷物を持ち帰られねばならないこともありうる。

撤収作業に入るタイミングはサークルやジャンルごとに異なるだろうが、もしまだ隣のサークルが頒布している間に撤収を行うのであれば、必ず作業を始める前に一言断わりを入れ、極力邪魔にならないよう細心の注意を払って作業しなければならない（帰宅時にも再度挨拶し、イスは卓上に上げずに隣に使ってもらってもよいだろう）。

そして、撤収作業時に最も注意しなくてはいけないのが、1日の売上の管理だ。盗難事件も発生しているので、荷物を箱詰めしている間などのごく短時間でも目を離さないようにしなくてはならない。そのために、あらかじめ専用の小さなショルダーバッグやウェストポーチなどを用意しておき、多少重くても金銭は常に全て身につけて以降の作業を行うようにしよう。

そして、最後の最後にひかえるのが在庫の搬出作業だ。宅配便で送るなら受付所へ、駐車場を申し込んでいるならサークル駐車場まで在庫を運ばねばならないが、疲れているところで結構な長時間午後のキツイ陽射しの下で過ごさねばならないことも多く、最後の最後に体調を崩してしまうケースも少なくない。油断せずに帽子やタオルなどの陽避けと飲み物は必ず用意して臨もう。

特に今回はサークルの出展場所と駐車場間が非常に遠いので、念のために台車などの運搬手段は用意しておくべきかもしれない。



■体力・気力・資金力■

夏冬、一般・サークルを問わず、コミケットどの同人誌即売イベントに参加するに当たって絶対に必要な物は何か？と問われたら、答えはこの3つと言ってよいだろう。作品の製作にも、イベントへの参加にも体力と気力が要るのは言うまでもないし、現実問題として印刷代やスペース代、もちろん購入資金、加えて交通費や飲食費……と、出展側でも購入側でも資金は不可欠だ。つまるところ、コミケット（他のイベントも含む）に参加している最中に、この**3大要素のいずれか1つでも尽きたなら、それが帰宅のタイミング**ということなのだ。イベントの高揚感につい浮かれてしまいがちになるが、たとえイベントの途中でであっても、リソースが尽きたら早めに撤収の判断を下せるようになったら、ベテランだろう。

もちろん、特にコミケットにおいては、参加者の体力と気力を過酷な環境から守るために、最下段のリンク先に掲載している推奨持ち物リストのような用意しておくべき、あるいは用意しておくとうれしい物が色々あるが、それは各参加者ごとに少しづつ違うものになるはずなので、自分の体力や参加スタイルに合わせて適宜最適化して持参して欲しい。

●体力

EMPTY  FULL

定期的に休憩時間を設け、少し落ち着いて自分の体調や疲労感を確認してみよう。また、購入した戦利品は、家まで持ち帰ることができる重さだろうか？ 以下のような異常を感じたら、倒れる一歩手前まで体力を消耗している可能性もある。会場を早めに離れ、可能なら帰宅前に少し長めの休憩時間を持とう。

- ☐ すばやく立ち上がるのがつらい、立つとめまいがしたり荷物が非常に重く感じる。
- ☐ 荷物や戦利品が重く、手や肩が痛い、全部の荷物を持つとふらついたり息苦しさを感じる。
- ☐ 非常に多量に汗をかいている、水分は摂っているはずなのに常に口や喉の渇きを覚える。
- ☐ 気がつけば入場以来ほとんど何も食べていない。

●気力

EMPTY  FULL

体力ほど自覚しにくい、気力も尽きる。具体的には、様々な事に対する注意力や、周囲の状況や参加者といった自分以外のことに対する関心が低下してきたら危険信号。そのまま帰ると精神的な余裕を欠きトラブルを招きがちになるので、可能なら少し座って静かにゆっくり飲み物を飲むなどして、気持ちを落ち着けてから帰宅しよう。

- ☐ 時間やメール、SNSなどをチェックするのが面倒に感じる。
- ☐ 周囲の人の多さや人の声などにイライラする。他人の言動がやたらと気に障る。
- ☐ 頭がぼーっとしたり、思考がまとまらない。言葉や数字がすぐに口に出てこない。

●資金力

EMPTY  FULL

ある意味最も大切な要素なので、特に念入りに注意と管理が必要だ。最低限購入用資金と交通費や食費などの必要経費は必ず分離して2つの財布に分け、購入資金が尽きたら必要経費の財布には手を出さず撤収すること。また、購入資金やサークルの釣り銭は事前に金融機関などで両替して1000円、500円、100円などの細かい金額に崩しておくのを忘れずに！

- ☐ suicaなどの交通系カードにはあらかじめ多めの金額をチャージする（交通費はもちろん、飲食やコンビニなどにも使え、逆に同人誌の購入には使えないので使い込みを防止できる）。
- ☐ ただし必要経費側にも必ず2、3千円分ほどの現金は残しておくこと。交通カードにチャージがあっても、現金しか使えない局面もあり得るからだ。
- ☐ 購入資金用の財布は盗難や紛失を防ぐために、リードやチェーンなどで身体やバッグにつなぐ。
- ☐ 次回申し込み書セットなど、会場で買っておかねばならない物は買ったかを確認。

【夏コミ用持ち物リスト】 Comi-Navi.comの『過去の記事など』コーナーより。

※ネット上で当Comi-Naviの装備リストをオススメして下さっている方へ。
現在旧版の持ち物リストが多く配布されていますが、最適化の意味でも、今後は是非右の新版を拡散して頂ければ幸いです。



■ようこそ、『伝説』のコミケットへ■

今回のコミケットは、おそらくコミケット史上一番とていいほどに、準備会を含む全参加者にとって負担の大きな開催となることが予想されている。開けてみるまで何がどうなるのかを予見することなど、誰にもできないだろう。それでも今回のコミケットに参加しようというからには、全参加者が適切な準備や装備と正しい情報、なにより『自分の事に責任を、他の参加者に思いやりを』持つことが絶対必要になってくる。なにしろ全員が初めての事態なのだから、誰のせいにもできないのだ。アナタの参加者としての質が問われることになる。

色々と困難や不満もあるかもしれないが、それらに対して非難や不満を叫ぶくらいなら、これまで以上に自分の頭でよく考え、自分の身は自分で守りつつ積極的に参加者同志が助け合い、譲り合って解決を模索していくことこそが、この前代未聞の変則コミケットに臨む最善の方法だ。

毎回情性的に参加していると、それがたった数回でも『コミケットは常に変化していくものである』という大前提を忘れ、変化を見落としてしまいがちになる。しかしこのC96は明確な変化にどう対応していくかを通して否応なしに、参加するアナタの参加者としてのレベルアップを要求してくるイベントとなることは間違いない。今回コミケットに参加した経験は、きっと後年の語り草になるはずだ。

そしてアナタがレベルアップするということは、コミケットそのものがより良いイベントになっていくことでもある。それは続くC97、そして2020年のC98という2回の変則開催を経て、史上最大規模の開催となるC99とそれに続く新しい時代の、『これからのコミケット』を変わらず成功させていくための、大きなチカラとなるだろう。

CAUTION

本記事の内容はコミケット準備会のチェックを受けた上で掲載されているものですが、紹介しているアイテム類や行為はコミケット当日の天候や状況によって使用できなくなるものや、禁止となる場合も発生しえます。最終的には現場のスタッフの判断・指示に従ってください。

『臨機応変』もコミケット参加者に求められる大切な認識です。

本コーナーに掲載している健康面についての情報は必ずしも専門医学的考証に基づいたものではありません。また、取りあげられている各種事例や方法については個人差があり、期待される効果をもたらさない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本コーナーでは主にコミケットビギナーのために、参加に際して有用と思われる情報や知っておいて欲しいことを繰り返し、様々な切り口から論じています。過去の記事も併せて読むことで得られる情報の密度が向上しますので、是非下記サイトから過去記事もご活用下さい。

twitter : @Comi_Navi でも参加者サポート情報発信中!!

Comi_Naviはコミケットとその全参加者を応援しています。

<http://www.comi-navi.com>

過去のカatalog掲載Comi-Navi記事のバックナンバーやコミケットQ&Aなどを掲載しています。参加前にぜひ一読を!

◆カatalog掲載記事まとめ本(夏)(冬)作りました!

約10年分の記事をまとめました。ある意味最強の快適参加マニュアルです。

◆コミケットサポートマガジン『コミケPlus』もよろしく!

コミケPlus誌の製作に全面協力しています。継続のため是非ご購入下さい!

◆コミケット会場でも参加者をサポート!

全会期中南3ホール入り口横の物販ブースにComi-Navi Shopを出展しています。

サークルさん、一般参加者さん問わず、会場内で何か困った時にはぜひお立ち寄り下さい。

ココで
配布中!



■Staff ■Writing: 植村 枉(FORTUNE) ■Illustration: 桜部のとす(PalePink!)
■Web: 大木 真希夫 ■Cooperation: 蒼破